

浦安市長 殿

平成 30 年 4 月 20 日

浦安市文化会館における空調冷温水配管
現場調査及び水質検査実施のお願い

日本システム企画株式会社

標題の件に関し、下記の通りお願いするものです。

記

このたびは、当社開発の“NMRパイプテクター”の実証試験にご協力ありがとうございます。

実証試験を実施させて頂く施設である浦安市文化会館の空調冷温水配管について、事前に配管内の水質を確認し、配管の劣化状況等、実証試験を実施することに適している配管であるかを確認するため、あらかじめ現場調査及び別紙「空調冷温水採水及び水質検査要領」に示す方法にて、水質検査を実施したく施設の立ち入り及び採水についてご配慮いただきたく、お願いいたします。

以上

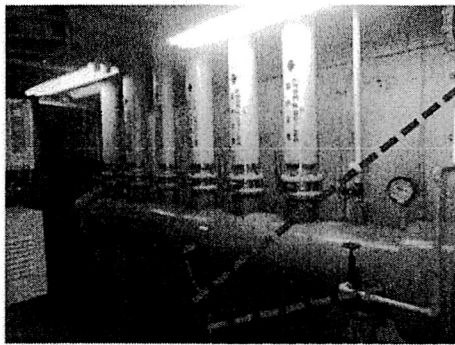
空調冷温水採水及び水質検査要領

日本システム企画株式会社

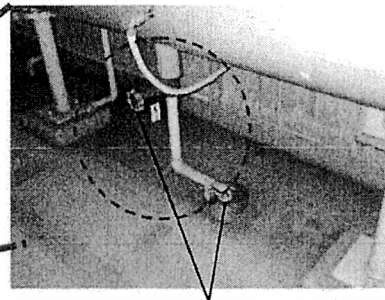
1. 採水方法

1) 採水箇所の選定

配管内の赤錆腐食を反映している採水検体を採取するため、蓄熱槽や冷却塔等、水が滞留している箇所は避け、水が常に流れている配管より採水を行います（循環配管のドレン部など）。



採水箇所例：還管ヘッダー下ドレン部



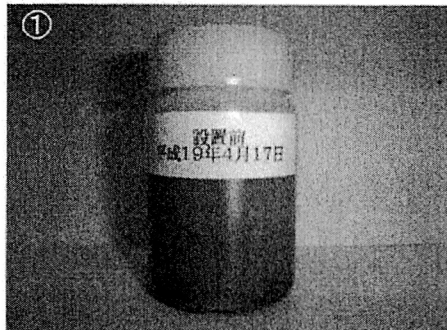
バルブを開放し、ドレン部より採水します。

2) 採水作業

- ・採水前に採水用のボトルを 1 箇所に付き 3 本用意します。
(水質検査機関送付用、浦安市保管用、当社保管用)
- ・ドレン配管内に滞留している水やドレンバルブに付着している赤錆を考慮して、バルブを多め（30 秒以上）に開放します。
- ・循環水を 30 秒以上流した後、バルブ開放により流出する赤錆を完全に流し終わった後に、3 本のボトルに 250cc 採水します。ドレン部よりボトルで直接採水をするのが難しい場合はビニール袋で水を受けてから採水を行います。

3) 写真撮影

設置前及び採水日を記載したラベルを貼り付け、横向きの写真 (①) と、フタを取った上面からの写真 (②) を撮影します。



別紙

4) 外部検査機関による採水検体の評価

- ・採水検体の検査につきましては、第三者水質検査機関に実施いただきます。

(検査機関：公益財団法人 宮城県公害衛生センター)

5) 検査機関へ発送するまでのハンドリング

- ・採水時に施設側ご担当者様にお立合いいただき、採水後は弊社による採水検体のハンドリングは行わず、施設から直接検査期間へ発送いたします。

2. 分析方法

前処理の後、採水検体に含まれる鉄分値(mg/L)を ICP 発光分光分析方法にて分析します。

<測定方法>

JIS K 0101 60.4 : ICP 発光分光分析方法

<前処理>

JIS K 0101 4.2 の処理を元に下記の処理を行います。

鉄分（溶解性、非溶解性鉄）を全量検出できるように、下記 2 点の処理工程を追加します。

- (a) 完全に溶解するまで一昼夜以上静置。
- (b) 突沸しないように穏やかに熱濃縮（ほぼ一日）

(参考：<http://kikakurui.com/k0/K0101-1998-01.html>)